

第4章

住みたい、
住み続けたいまちづくり

基本方針

安心して子どもを産み育てられる環境づくりや快適に生活していくための環境づくりを推進する人口減少抑制策は、福智町が将来にわたって持続可能な町となるために欠かせない施策です。

子育て世代をはじめとするあらゆる世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを実現させるためには、町全体でニーズに応える施策を整備し、サービスの向上を図り、快適に暮らすために求められる「仕事」「住まい」「暮らし」の充実を目指した施策展開を図る必要があります。

今後さらに、限られた財源の中、実効の高い施策を優先しながら、多様な課題の解決につながる取り組みを検討していかなければなりません。



彦山川・中元寺川合流点

基本目標

施策体系

第4章
住みたい、
住み続けたいまちづくり

1. この町で生きることを応援する移住定住サポート 30P

2. 安心して子どもを産み育てられる子育て支援 —— 32P

3. 快適な生活環境づくり —— 34P



岩屋権現の大杉

1. この町で生きることを応援する移住定住サポート

現状と課題

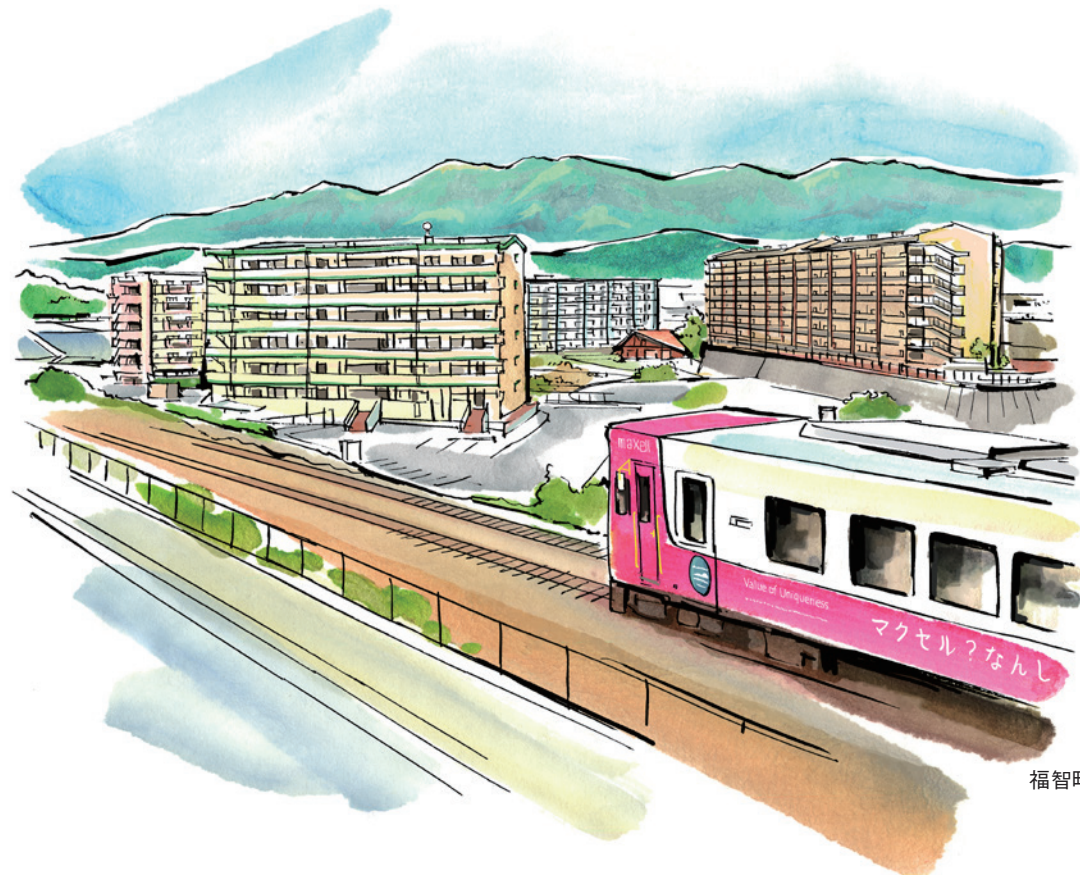
人 口減少に歯止めをかけるためには、移住者の確保だけでなく、定住の促進が重要となります。これまで、定住促進のための住居にかかる奨励金支援事業などを継続的に進めてきましたが、今後も支援制度の拡充やサポート体制の見直しを行い、ニーズに応えることのできる有効施策を実施することにより、定住者や移住者の増加を目指していかなければなりません。

全国的な人口減少に伴い、適正な管理がなされていない「空き地・空き家」が増えてきており、平成28年より「福智町空き家バンク制度」を整備し、空き家等の利活用を図っているところですが、その認知や活用はまだ十分ではなく、制度の周知拡大を図るとともに、利活用を含む支援体制の見直しも検討する必要があります。

また、福智町では、積極的な企業誘致や創業希望者への相談対応に取り組むとともに、平成27年度に「しごと相談窓口」を役場内に設置し、雇用確保の推進を図ってきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う登録企業の減少が進んでいく中「しごと相談窓口」の機能維持が困難となり、令和2年度をもって閉鎖を余儀なくされました。

定住促進にあたっては、誰もが安心して快適に住み続けられる良好な住環境が必要です。

これまで「福智町営住宅長寿命化計画（令和5年度～令和14年度）」に基づき、今後も高齢者や障がい者、子育て世帯などが入居しやすい町営住宅の整備に取り組んでいくほか、移住・定住に関する支援制度や受入体制の拡充に努めていきます。



福智町内の公営住宅

主要施策

（1）創業および事業拡大の支援

- ① 企業誘致奨励金制度の拡充と制度を活用した積極的な誘致活動【まちづくり総合政策課】
- ② 創業希望者に対する相談窓口の開設やセミナーの開催【まちづくり総合政策課】
- ③ 商工会への活動助成の継続【まちづくり総合政策課】
- ④ テレワーク環境整備による地方移住への支援【まちづくり総合政策課】

（2）空き家バンクの推進

- ① 空き家の未然防止策の検討【防災管理・管財課、まちづくり総合政策課】
- ② 空き家バンクの利用率向上【まちづくり総合政策課】
- ③ 空き家や空き店舗を利活用した事業の検討【防災管理・管財課、まちづくり総合政策課】
- ④ 不動産取引事業者の育成と連携の強化【まちづくり総合政策課】

（3）定住支援助成事業の推進

- ① 福智町定住促進助成事業（住宅新築・中古住宅購入奨励金）の実施【住宅課】
- ② 住宅リフォーム助成の実施【住宅課】
- ③ 給付型奨学金の実施【学校教育課】
- ④ 移住・定住支援制度の見直し・拡充【まちづくり総合政策課】
- ⑤ ポータルサイト「ふくち暮らし」の利用率向上【まちづくり総合政策課】
- ⑥ 民間資本による住宅基盤の整備【まちづくり総合政策課】
- ⑦ 移住者の把握と受け入れ体制の強化【まちづくり総合政策課】

（4）適正管理における良質な住宅供給の推進

- ① 「福智町公営住宅長寿命化計画」の推進【住宅課】
- ② 施設管理における指定管理制度導入の検討【住宅課】



移住定住サイト

2. 安心して子どもを産み育てられる子育て支援

現状と課題

次 代を担う子どもたちが心身ともに健やかにたくましく育つためには、地域社会全体で子どもたちを育てる環境づくりが重要です。

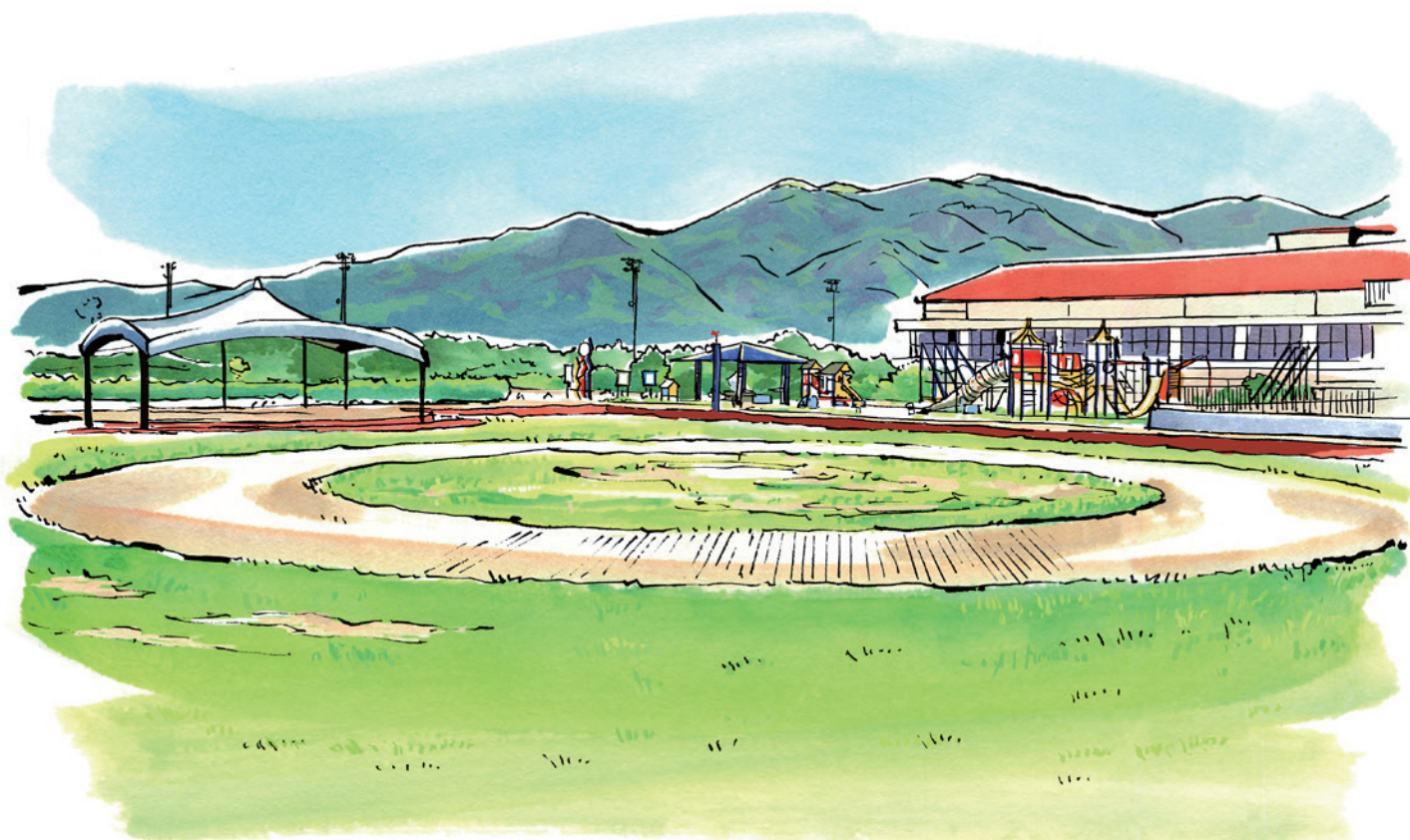
福智町では、さまざまな関係機関が連携し、子育て支援策に取り組んできましたが、今後も安心して出産・子育てができる環境の充実を目指します。

また、貧困や虐待などにより保護を要する児童は

年々増加傾向にあり、早期の発見と対応が求められています。

これまで、要保護児童対策地域協議会において各関係機関とともに取り組みを行ってきました。

今後も関係機関との連携体制の強化を進めるとともに、こども家庭センター設置に向けた体制を整備していきます。



ワイ・ワイ・ワ 広場

主要施策

(1) 子育て環境や制度などの支援の充実

- ① 「第2期 福智町子ども・子育て支援事業計画」の中間見直し【健康子育て支援課】
- ② 放課後学童保育の連絡協議会による保育内容の向上【健康子育て支援課】
- ③ 保育料および副食費の無償化【健康子育て支援課】
- ④ 子ども・ひとり親家庭等医療費助成の継続【健康子育て支援課】
- ⑤ 保育士確保の支援事業【健康子育て支援課】
- ⑥ ファミリーサポートセンター※の運営継続【健康子育て支援課】
- ⑦ 保健師等の確保および人材育成【健康子育て支援課、総務課】
- ⑧ ブックスタート事業※の継続【生涯学習課】

(2) 要保護等児童への支援の充実

- ① 要保護児童対策地域協議会の体制強化に向けた各関係機関への虐待防止や早期発見に関する周知の徹底【健康子育て支援課】
- ② 要保護等児童の支援機関への研修の実施【健康子育て支援課】
- ③ 子ども貧困対策の推進【健康子育て支援課】
- ④ 乳児家庭全戸訪問事業の継続【健康子育て支援課】
- ⑤ こども家庭センター※設置に向けた体制整備【健康子育て支援課】

※ ファミリーサポートセンター
▶ 「育児のお手伝いをしたい方」と「育児のお手伝いをしてほしい方」が地域の中で助け合いながら子育てをする会員組織の有償ボランティア活動。自治体が設置し、委託を受けた法人が運営。

※ ブックスタート事業
▶ 0歳児健診などの機会に、絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃんに絵本を手渡す活動。赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあうひとときを持つきっかけを届ける。

※ こども家庭センター
▶ 全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的相談支援および包括的支援を行う機能を有する機関。



3. 快適な生活環境づくり

現状と課題

自 然環境は、良好な景観の形成だけでなく、生産活動や防災、生物多様性の確保など、さまざまな役割を持っています。自然環境の保全を図りつつ、長期にわたって均衡と調和のとれた国土利用を確保することが求められます。福智町では、これまで、継続的な国土調査や町有地の活用・売却、環境美化運動等に取り組んできました。

ごみ処理やし尿処理については、それぞれ広域化を推進してきましたが、更なる効率化を目指し、田川地区広域環境衛生施設組合にて一括して運営していくことが決まりました。

水道事業においては、安全で安心な水の安定供給のため、田川地域1市3町（田川市、川崎町、糸田町、福智町）と、田川地区水道企業団の用水供給事業の統合が行われ、平成31年4月より「田川広域水道企業団」として水道事業が開始されました。

今後は水道料金の統一化や施設設備の統廃合などを進め、完全な事業統合を進めていきます。

また、人々の生活様式の変化が進むなか、近年の環境問題は多様化・複雑化し、地球温暖化やオゾ

ン層の破壊など地球規模にまで広がりをみせています。これまでの間、住民や地域による資源物集団回収事業等の取り組みの支援を行うとともに、町行政自らが一事業者であり消費者であるという立場のもと、環境負荷低減の取り組みとして、公共施設および遊休地等を利用した太陽光発電事業を推進してきました。

今後は、太陽光発電のみにとらわれず、取り組みをさらに進め、公共施設や町有地を活用した再生可能エネルギー電力の導入を推進していきます。

さらに、経済の発展や生活の利便性の向上につながる道路整備や公共交通機関の整備は、まちの発展に不可欠な事業です。

福智町では、道路や橋梁の補修、補強を進めるとともに、持続可能で利便性の高い公共交通網の維持・確保に向けた実効性ある取り組みとして「福智町地域公共交通計画」を策定しました。

今後、既存の公共交通機関への支援や連携強化を図っていくとともに、福祉バスから予約型AIデマンド運行バスへの転換を検討していきます。

主要施策

（1）快適なまちづくりと美しい地域づくりの推進

- ① 高齢化、感染症対策等に対応した地域清掃活動の実施の推進【税務住民課】
- ② 各地区のボランティア清掃に対応したボランティアごみ袋の配布【税務住民課、生涯学習課】
- ③ 不法投棄等防止対策の強化【税務住民課】
- ④ 旧平原団地跡地売却の推進【防災管理・管財課】
- ⑤ 神崎高尾地区分譲地の売却の推進【防災管理・管財課】
- ⑥ 国土調査事業の推進（旧赤池町、旧金田町域）【農政課】
- ⑦ 金田小・中学校跡地（普通財産）の有効活用【防災管理・管財課】
- ⑧ 春季の花いっぱい運動の推進【まちづくり総合政策課】

（2）ごみ処理の効率化と循環型社会の推進

- ① 田川地区広域環境衛生施設組合の運営推進【税務住民課】
- ② 補助制度拡充による合併浄化槽への転換推進【税務住民課】
- ③ コミュニティプラント（汚水処理施設）の運用および維持管理【税務住民課】

（3）安全で安心な水の安定供給

- ① 水道の安全性、安定供給を確保していくための田川地区の他市町村との広域事業統合【田川広域水道企業団】
- ② 水道施設設備における統廃合の推進と広域連携による水道施設の強化【田川広域水道企業団】

（4）環境負荷低減の推進

- ① 資源物集団回収事業奨励金制度の推進【税務住民課】
- ② 公共施設および遊休町有地等における再生可能エネルギーを活用した電力導入の推進【防災管理・管財課】

（5）道路交通網の整備推進

- ① 道路改良・維持工事の継続実施および道路維持工事に係る補助金活用等の検討【建設課】
- ② 補強対策が必要な橋梁の精査【建設課】
- ③ 福祉バスの利便性向上と運行効率化を目指し、AIデマンドバスへの転換を検討【まちづくり総合政策課】
- ④ 平成筑豊鉄道などの公共交通事業の運行継続支援【まちづくり総合政策課】
- ⑤ 地域活性化および経営改善に向けた、さらなる平成筑豊鉄道との連携強化【まちづくり総合政策課】

